

2 世界文化遺産姫路城を活かしたまちづくり

(1) 世界文化遺産姫路城の保全と活用

- 世界文化遺産姫路城を保全し、後世に継承していくため、姫路城の保存修理や石垣調査・修理などを進めるとともに、匠の技である伝統的左官技法等の継承に努めます。
- 特別史跡地内の未整備部分については、特別史跡姫路城跡整備基本構想の見直しを現在進めており、新しい構想策定後は、この構想に基づき世界の姫路城にふさわしい整備を推進します。
- 姫路城周辺に残る城下町のなごりを留める道筋では、身近なまちづくり支援街路事業（歴みち事業）を推進します。
- 姫路城周辺地区の景観形成については、姫路城周辺地区景観ガイドプランに基づき姫路城にふさわしい景観の保全と形成に努めます。
また、姫路市屋外広告物条例の基準に基づき、城周辺の屋上広告物等の規制に努めます。

(2) 国際観光都市を目指して

- 姫路城の優美な姿が眺望できる地点や好古園、姫路文学館、県立歴史博物館、美術館、日本城郭研究センター、イーグリひめじなど城周辺の文化・交流施設等の回遊ルートを設定し、来街者の回遊性を高めます。また、回遊性をサポートする城周辺観光ループバスの運行や観光レンタサイクルの積極的な活用を図ります。
- 国の内外から姫路を訪れる来街者に、姫路城をはじめ文化・交流施設や歴史的雰囲気を守る地区への誘導を図るため、エントランスゾーンに観光案内所を整備するほか、きめこまやかな観光案内情報の提供や案内ガイドなどを配置するとともに、外国人にも分かりやすい案内サインの整備を進めます。
- 城下町らしさを創出するため、城下町としての歴史的資源の発掘をおこなうとともに旧町名やその歴史を解説した案内板の設置、城下町がイメージできる通りの名称の付設などに取り組みます。
- 姫路フィルムコミッション活動による国内外映画やテレビ番組のロケ誘致、携帯電話を利用した観光情報の提供など多様な手段を積極的に活用し、姫路イメージの情報発信に努めます。
- 市民一人ひとりがおもてなしの心を持ち、「また来てみたい」と思われるような都市となるようホスピタリティの向上に努めます。

回遊ルートのイメージ

